

8月号

みぶ



町の花 ゆうがお

発行 栃木県壬生町 昭和55年 8月15日



炬火

壬生町長から石橋町長へ無事炬火が
引継がれました。(8月11日行われたリハーサル)

町史編さん 準備委員会がスタート



町史編さんに先だち、準備事業を進めるため、壬生町史編さん準備委員会を設立し、その第一回準備委員会を7月5日開きました。町の正しい歴史を永く後世に伝え、郷土に対する町民の理解を深めることが、将来の町発展に役立つものであり、ここに町史編さんの意義があるわけですが、合わせて町政推進の基礎資料はもとより、學術・文化の振興にも大いに寄与します。

編さんにあたっては、自然や歴史的遺産、資料等を調査・収集し、整理保管する必要がある、この活用をはかることも大切なことです。従って、編集の規模や発刊年次計画を綿密な基本構想をつくり推進しなければなりません。このような基本的なことを一つ一つ検討を加えて基礎作業を進めるため、このたび準備委員会が発足したもので、その成果が期待されます。

なお、準備委員は次の方々です。

○委員長、○は副、敬称略）
 ◎鯉沼一 道 藍田菊太郎 石崎達
 ○大川幸治 大垣八郎 栗原信明
 高田義雄 榎本 恒 黒川正邦
 星佐一郎 国生俊道 清水生一
 早川近一 田村正規 大関正一

「町史編さん」の準備事業の一環として、その基礎的な歴史

「町史編さん」によせて
壬生町長 佐藤正幸

かねてより思っていたとおりでした「町史編さん」について準備委員会がこの度発足したことによって、現実「町史編さん」が始まったことになったわけでございます。

いま町史とか、果史とか、あなから始め、どこから手をつけていくか、なにかを検討を開始するか、それらをどう最初にしていただき、それがどの程度まで進みまた段階において、準備委員会を委員会に切替へ、いよいよ早く本格的な仕事に入られるよう、特にお願いたします。

本町は申し上げるまでもなく、非常に古い長い歴史を誇り、今日にいたっているわけでございます。よく通説にいわれておりますように「ローマは一日にしてならず」といふことがありますが、本町はローマのようなりつぱな町ではないかも知れません。

しかし本町は本町なりに、本町の今日があるのは一日してならずのことはございませぬ。

本町におきまして、その歴史の長きにおいては、私は他の市町村に決り負けないという長い歴史があったのではないかと思ひます。

準備委員会が、準備期間中にどんなことをするのかということが、いろいろ問題になると思つてございませぬ。

私といたしましていろいろ方法論があるのだと思つて、なにかから始め、どこから手をつけていくか、なにかを検討を開始するか、それらをどう最初にしていただき、それがどの程度まで進みまた段階において、準備委員会を委員会に切替へ、いよいよ早く本格的な仕事に入られるよう、特にお願いたします。

本町は申し上げるまでもなく、非常に古い長い歴史を誇り、今日にいたっているわけでございます。よく通説にいわれておりますように「ローマは一日にしてならず」といふことがありますが、本町はローマのようなりつぱな町ではないかも知れません。

しかし本町は本町なりに、本町の今日があるのは一日してならずのことはございませぬ。

本町におきまして、その歴史の長きにおいては、私は他の市町村に決り負けないという長い歴史があったのではないかと思ひます。

まとめをすることが、正しいルートで書き進めたいと思ひます。なかなか大きなものになると考へます。

私は、後世に残る、文化的な遺産としての事業に発展するのでないかと存じておるでございませぬ。今後の段階にきましまして、委員さん方の増員も考へざるをえない時期も来ると考へております。

準備委員の皆さんのご意見と承かような際には各方面に意見を訪ねて増員するとか、委員ではなくとも、この事業を応援していただく大勢の、その歴史を精進して、どうぞ思ふ存分ご活動されて、一日も早く本町の歴史の現をお願いいたします、私のこゝろでございます。

生町史をつくるために、この事業の積極的な参加の意で、この理解のうえ、資料収集に協力をお願いいたします。

「町史編さん」に関する問い合わせは、壬生町役場内、壬生町教育委員会社会教育課町史編さん係までご連絡ください。

統合中の工事進捗状況は62% 地権者など招いて上棟式行ふ

56年度開校を期し、着々と工事が進められている壬生町立壬生中学（仮称）の上棟式を、7月17日午後1時30分から建設工事の同校校舎で、地権者をはじめ町長、町議会議員、工事協力者など約100名が出席して行いました。

工事進捗状況は、8月1日現在62%で計画通り順調に進んでいます。建築延面積は、校舎棟、一五八㎡、給食棟、〇四㎡、屋内運動場棟、二〇六㎡、格付場棟五七八㎡の合計一、〇〇〇㎡。校舎棟の構造は鉄筋コンクリート造、附建（部）骨造で、56年度に建設する体育館と格付場を除く。

昭和54年度建設事業の 合同落成式行ふ

昭和54年度中に完成した藤井小体育館、羽生田小体育館および陸地区コミュニティセンター、壬生町立大市民館の合同落成式を7月17日、中央公民館で行いました。式典に先立って、町有バスで各施設を見学したあと、午前10時30分から中央公民館（町議会議員および工事関係者を招いて式が行

日頃の訓練を实践 消防団夏季点検

朝からあいにくの小雨模様にみまわれた8月1日、壬生町消防団（橋本茂団長）では、陸小中学校庭で午前8時から夏季点検を行いました。

点検は、三分団十五部の約20名の団員が参加して、消防団係長職者に対する熟とへの、佐藤消防長（町長）から服装点検やボン



54年度建設事業の合同落成式

われなもので、施設の建設概要は次のとおりです。

藤井小体育館
 建築面積 壬生町大字藤井一、一六〇番地
 工期 昭和54年11月26日着手
 昭和55年3月25日完了
 総工費 八千九三〇万円

建築面積 七六三㎡
 構造 鉄骨造
 休室五三二・一七八㎡
 スタージ六・七一㎡
 更衣室・便所・器具置
 場、放送室（隣）な
 ど

羽生田小体育館
 建築場所 壬生町大字羽生田二、一四一番地
 工期 昭和54年11月26日着手
 昭和55年3月25日完了
 総工期 一億一六五万四千円
 建築面積 七四四㎡
 構造 鉄骨造
 休室五二六・〇〇㎡
 スタージ七五・五二㎡
 更衣室・器具置場、更衣
 室、便所など

陸地区コミュニティセンター
 建築場所 壬生町幸町二丁目3番8号
 工期 昭和54年11月2日着手
 昭和55年2月10日完了
 建築面積 一四七・三六㎡
 構造 本造一部鉄骨2階建
 （一階）本造2（各二・五畳）調理室、コヒ室・物置
 （二階）大会議室八三㎡

北公民館
 建築場所 壬生町大字福和田、五八五番地一六
 工期 昭和54年10月27日着手
 昭和55年3月10日完了
 総工期 三千二〇〇万円
 建築面積 一四八・六七㎡
 構造 本造家建
 大会議室（洋間五八・〇畳）
 小会議室（日本間二二畳・調理室、事務室・便所等

第一分団第二部に 新鋭消防車を配置



第一分団第二部（上通町、仲通町、舟町、栄町、城東町、城内）に新しい消防車が入りました。購入価格は一七万七千円です。

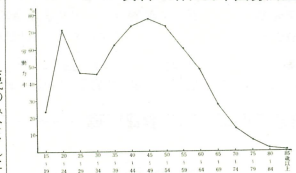
町では十五台のポンプ自動車消防団の各部に配置し、団員の念入りな点検整備と訓練によって、万一の火災に備えて万全の準備体制をとっています。

国勢調査の「栃木県人口は なん人でしょうか？」

県民のみならず、国勢調査に対する関心を深めていただき、そして理解と協力を得るため、県では本年10月1日に行われる国勢調査の栃木県人口の懸賞募集を行います。

問題は「昭和55年10月1日に行われる国勢調査の、栃木県人口は、なん人でしょうか」というもので、

壬生町の年齢5歳階級別労働力率(女性)
資料：昭和50年国勢調査



国と郷土を考える

国勢調査のはなし ⑥

〈ふたごぶ曲線〉 働く女性の

ライフ・スタイル

機関であるラケの背のような二つのこぶを持った曲線を描きます。これが「ふたごぶ曲線」か「M字型曲線」と呼ばれるもので、年齢別にみた女性の就業状態をよく表しているのです。

第一のこぶは二十一〜二十四歳の若さで、昭和二十五年以降、高度経済成長による第三次、第二次産業の発展とともに年々大きくふ发表するほか、一等一名、二名、二名一名、一万五千円、二名一名、一万円、入賞名各千円を、それぞれ贈呈します。



県民手帳の予約募集

- ・頒布価格… { ポケット手帳 300円
大型ポケット手帳 450円
- ・申込みは9月10日まで
- ・配布は11月予定
- ・申込みは役場企画課または支所

転作小豆、大豆に鳥害

猟友会の協力でドバト退治

西高野地区では、水田の転作物に時いた小豆・大豆30haのうち9haがドバトの被害を受け、時きかえましたが、被害を防ぐには、

獲物を手にぼとせる
猟友会のみなさん



青少年クラブ員が 環境整備に協力

町青少年クラブ協議会(山形井修一会長)の会員九名が、農業用廃ビニール処理対策事業に協力し、よつと7月10日、国谷新田内、山形に不法投棄されていた、廃ビニールの回収作業に協力されました。



廃ビニール ポリエチレンの 不法投棄を なくそう

ドバト退治外にはない、猟友会栃木支部と壬生支部に依頼しました。早く引き受けた猟友会では、十七名のハンターが8月2日、3日の両日協力し、二八四羽のドバトを撃ち落としました。この作戦に立合った農家の人たちはこれに被害が少なく感謝しています。

河川、道路わきなどへ不法投棄され、悪臭・虫の発生源になるなど、農村環境を悪化させる、社会問題となつています。このよう状況に対処するため町では農業用廃ビニール処理対策協議会を中心に、投棄者不明の農業用廃プラスチックや農家の庭先などに山積されていく使用済ビニールの回収を行つて、不法投棄の一時監視を実施しています。一、人ひとりの心掛けと実践が必要です。片付けの人の身になって、自分一人

く、はい、という気持ちで、今日からなくしたいものです。環境美化については、栃の葉園体が開催されることあり、特に住民運動を展開しています。使用済ビニールの不法投棄を防止し、住みよい環境づくりを、みんなの力で進めましょう。

9月は河川愛護月間です
河川愛護会と関係団体が協力して、この夏の収穫、提防の「草刈り」を積極的に実践し、河川の美化をはかりましょう。

「ごみステーションのコンテススト行」
審査は9月中旬と11月中旬
このようことから、可燃物ごみステーションの美化と出し方のコンテストを実施します。審査は9月中旬と11月中旬頃の手定。
「ごみの出し方」心得
1 収集日をわきまかて、その日の朝のうちにしましましょう。
2 交通のしやまにならないように出しましょう。
3 可燃物ステーションへは、燃えこみだけを出しましょう。
4 水分は十分切つてから出しましょう。
5 袋は町指定のポリ袋で出しましょう。
6 袋はひとりでばつて、きちんとポリバケツ、ビニール袋等では出さないでください。

壬生町職員募集
受付は
9月1日〜9月25日
役場では、昭和56年度に採用する職員を次のように募集します。
○職種および採用人員
①一般事務(男) 若干名
昭和32年4月2日から昭和38年4月1日まで生まれ、た者
の保母
未春までに資格取得見込みの者
※①のいづれも町内居住者(通学のための一時転出者を含む)に限る。
○手続き
申込用紙請求先
採用試験案内および申込用紙は、壬生町役場総務課(2階)にあります。
○受付期間
昭和55年9月1日(月)〜9月25日(木)まで、平日は午後5時まで、土曜日は正午までです。
○採用試験
昭和55年10月29日(水)
○問い合わせ先
壬生町役場総務課
電話①1234内線14・16

国民年金の加入
町では、国民年金の未加入者に加入促進をすすめていきます。お心当たりの方はぜひに手続きを済ませてください。
国民年金は、二十歳から六十歳までの人で、厚生年金などの公的年金制度に入っていない日本人がすべて加入する国営の年金制度です。

国民年金に加入して、最低一年以上保険料を完納していれば、年齢が早ければ早いほどよいわけでは、二十歳になった人、他の公的年金へ入るはずのまだ未加入の人、すでに住民課国民年金課へ出向いて、手続きを済ませて、詳しいことは、国民年金係にお問い合わせください。

お知らせコーナー

ツベルクリン反応
BCCGの予防接種

とま・ところ
・中央公民館
ツベルクリン
ツ反およびBCCG予防接種
9月3日(木)
9月5日(土)

受付時間はいずれも午後1時30分
実施日現在四歳未満のお
子さんで今までに1回も
ツベルクリン反応検査を
していないお子さん
対象児
斜頸・股関節脱臼検査
と保健指導

三か月児検診

とき 9月11日(木)午後1時30分
とま 総合運動場管理棟
ところ 昭和55年5月11日・6月
10日までの出生児
対象児
斜頸・股関節脱臼検査
と保健指導

母親学級

とき 9月10日(水)
午後1時30分
ところ 壬生中央公民館
内容 第二課

9月の納税
国民健康保険税
第3期分
国民年金
7・8・9月分

①妊娠後期の注意
②お産の経過
③妊産婦体操
映画「安産教室」
持参するもの 母子健康手帳、ス
ラックス

三種混合予防接種

(破傷風・ジフテリア・百日咳)
とき・ところ
9月25日(木) 壬生中央公民館
9月26日(金) 南大岡地区公民館
受付時間はいずれも午後1時30分
対象児
昭和55年4月2日・9月30日ま
でに生まれたお子さんと48か月
までに一期または二期を接種し
ていないお子さん

運転免許更新新時講習

とき・ところ
9月22日(日) 老人憩の家
9月22日(日) 獨協医科大学
時間は、いずれも午前10時から
始まります。無料。

たばこ消費税は

町の貴重な財源の一つです
日本専売公社が行っているたば
この製造販売については、その益
金の一部をたばこ消費税として、
たばこが販売された地元の町に納
付されます。
町内には、現在七十五軒のたば
こ販売店があります。昭和54年度
中に町内のたばこ販売店で売られ

た「たばこ」は、約七、六五万
本に達しました。これにより納付
されたたばこ消費税は、約九、五
四二万円、町税収入全体に占め
る割合は6.2%です。
このたばこ消費税が町の重要な
財源として、学校建設や道路整備
など、いろいろな町の事業の一部
に使われています。たとへば、一
年分のはたばこ消費税で、小学校体
育館の建設も可能なほどです。
皆様も、たばこは町内の販売店
でお買求めいただき、町をより住
み良い豊かな町にすることに協
力ください。

廃犬引き取り日

とき・ところ
9月10日(木) 9月24日(木)
役場本庁 午前9時30分まで
南大岡支所 午前9時40分まで
稲葉支所 午前10時10分まで
飼主は予時間まで引き取り会
場でお待ちください。なお何かの
都合で帰れる方は、保健課およ
び各支所へ連絡してください。

今月の人口

8月1日現在対前月比	
総人口34,747人	+58
男 17,295人	+32
女 17,452人	+26
世帯数 9,482世帯	+21



234

鳥居家中興譜について

その五十一

それによると、今度留守居をす
るよう堅く申付け下さい。最上守
津宮今津の若達や、米津勘兵衛、
島田兵四郎にもそのことを申付け
ておいたから、決してこれにそむ
くことのないように、相談させな
さいとの注意があった。又、最上
駿河守へも鳥居左京亮(忠政)に
相談するよう手紙をよつたとい
うことであつた。
○慶長二十年(一六一五年)大阪
の戦(註、大阪の陣は一旦和睦
となつたが、その後、争い事が
起り再び戦となつた。これを大阪
夏の陣という。この戦で大阪城は
落ち、豊臣秀頼や生母淀君など皆
討死し、豊臣家は滅び、名実共に
家康は全国の支配者となつた。の
時にも忠政は又、江戸に留守居を
命じられた。ところが、大阪で味
方が苦戦している中で、忠政に東
国の兵を引きつづる大阪に来るよ
う、家康の命令があつた。忠政は、
軍兵を引きつづる戸塚(神奈川県)
に行った。その時、大阪落城とな
つたので、急いで来るには及ばな
い、東国の政務を行いなさい」と
の命令があり、忠政は戸塚から江
戸城に入った。

○大阪に於いて二か年の戦に鳥
居土佐守成次は、家康の供をして
武功を立て敵の首、数個を取つた。
大阪城が落ちた後家康は、羽柴下
総守を忠政に預けた。忠政は、下
総守を自分の城のあつた州岩城
に置いたが、その後彼は病死した。
(下総守は、髪を剃って住んでい
た)
○忠政は奥州岩城に一つの寺を建
て、亡父元忠の菩提を弔つた。秀
忠(家康の子徳川二代将軍)は、
元忠の忠死を憐んで寺領を、寺の領
地)を寄進(寄附に同じ)した。
その書付には、彦右衛門の後生を
弔うために一つの寺を建て、長源
寺という奥州岩城領中塩村百石を
寺領として寄進する。その上、寺
の門前の山林、竹木等に税役をか
けることをしない。このことは長
く約束にむかないことと詔書の判が
押してある。今でも代々御朱印を
いただいている長源寺の住職が、
子や孫にあとをつがせる場合は、
代々鳥居家に申し出て許を受け、
寺のしごとを行いつて事は鳥居
家と相談して決めた。
○元和元年(一六一九年)秀忠が
京都に上つて居た時、福島左五門
大夫(正則)が罪をうけて、領地
を取りあげられ江戸に居た。そこ
で坂部三郎廣勝と、久世久三郎
廣宣が秀忠の命をうけて江戸に來
た。

筆者 藍田